

この夏休み、私から皆さんに三つのお願いがあります。

まず一つ目。何よりも「いのち」を最優先にします。

絶対に命を大切にしてください。

例えば、「時間に遅れそうだ」というときも無理に急がない。

「時間に遅れると怒られる」と言う人がいますが、ほとんどの場合、待っている人は時間に間に合わなかったから怒るのではありません。遅れる人の「誠実ではない態度」に対して怒るのです。

まずは落ち着いて考え、ギリギリに間に合うことよりも、まずは待っている人に連絡をして遅れることを伝え、きちんと謝ることを優先します。相手に誠実に対応し、心から反省することが大事です。人生は長い。また同じ失敗をしないように気をつければいいのです。

また道路でも、車が来ているのに、「もしかすると渡れそうだ」というような誘惑に負けない。そんなギャンブルに人生をかけない。急いでも渡れなくても、到着は1分しか変わりません。

海で「遊泳禁止」のところで泳ごうとしたりしない。プールで準備体操を怠ったり、溜め池に近づいたり、そんなことは絶対にしない。

いいですか、くれぐれも命に関わることは、慎重になりなさい。

二つ目は自分探しです。ある程度、自分で時間をコントロールできる夏休みは、自分の興味関心を見つける絶好の機会です。

忘れもしない、中学2年のときに私は「先生になりたい」と思いました。きっかけは本当に単純で、友達から、「お前の教え方、先生よりも分かりやすい。」と言われたことです。ただ、この時期以外にも、漫画家になりたかった時期もあったし、ツアーコンダクターになりたかった時期もありました。

将来の夢がいろいろと揺れることはまったく問題ではない。自分の関心が将来に向かないことの方が問題です。

また私の話です。あるとき、友達が入院して千羽鶴を折っていたとき、同じ作業をずっと続けることが耐えられなくて、「あ、これは自分に向いていないな。」と気付きました。自分には同じ作業を繰り返すような仕事は無理だと思い、自分の進路希望からそのような道を選択肢から外しました。また、今もときどき趣味のように料理を作っていますが、「料理人って、これを毎日やっていくのかあ。まずかったらお客さんは離れていくし、失敗もできないし、自分には無理だなあ。」と諦めたことも覚えています。

今の自分の毎日を将来と結びつけると、いろんな自分の適性に気付くことができます。学校生活があると、なかなか気づけないことも多いのです。ぜひ、夏休みを利用して1つでも2つでも、自分の適性に気づいてほしいのです。

三つ目。目標を持つことの大切さを分かってほしい。

ここで質問。

もし、今、「今から体育館を出て校庭を歩いて階段を下り、その下のトンネルまで歩いてください。」と言われたらどう感じますか？

「え、ちょっと面倒くさい。」と感じますよね。

そこで思い出してほしいのは、先日、1年生も行った防災学習です。君たちは2 km先の石浜のフラップゲートまで歩いています。そのときトンネルまでの150 mの距離は面倒くさい距離だったろうか。

トンネルを目標にすれば、トンネルまでの距離を面倒くさく感じる。でもその一方、石浜を目標にすれば、トンネルまでの距離はまったく面倒くさくはない。むしろまだスタート地点です。

不思議ですよ。これが人間の心の持ち方の大切さ。

目標を持つことの価値です。

あの高校に絶対に入りたい。

将来、このような仕事に就きたい。

そういう具体的な目標を掲げることができれば、毎日の勉強が不思議なことに面倒くさくなくなります。

むしろ、強い意志をもてば持つほど、目標に対して覚悟を持てば持つほど、1日が24時間では足りないと感じるようになります。不思議なものです。

「自分では目標ってなかなか見つけられないし、分からないんだけど。」という人もいます。

そんな人のため、夏休みには三者面談があります。お家の人や先生に、今の自分の気持ちを相談してみてください。

皆さんに「念ずれば花開く」という言葉を紹介します。

一途な心、強い意志を持ち続けられれば、いつか自分の花を咲かせられる、という意味です。昇降口に貼っておきますので、折を見て、今日の話思い出してくれたら本当にうれしいです。

4月から今日まで、君たちは本当によく頑張りました。

この夏休みは、命を大切に、自分の適性を考え、目標をもって生活する。そんな唐中生の姿を期待しています。